

特に注意していただきたいこと

●ここに示した「△注意」には次の意味があります。



この表示を無視して作業を誤った場合に、作業員またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



一般的な禁止

△注意

工事をされるかたへのお願い

- リモコンを正しく、安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 作業時は手袋などの保護具を着用してください。

- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事はできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- 電源プラグがついている機器は抜いた状態で、電源プラグがついていない機器はブレーカを「切」にした状態でリモコンコードを接続してください。
- 取付工事終了後、本書は必ずお客様にお渡しください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品の確認

●梱包されている付属品に不足がないことを確認してください。

台所リモコン	台所リモコン用 タッピンねじ (L35、2本)	浴室リモコン	浴室リモコン用 タッピンねじ (L40、2本)	浴室リモコン用 閉端接続子 (2個)	台所・浴室 リモコン用 オールプラグ (4個)
リモコンにより サイズ・入数が 異なります。	リモコンにより 付属していない 場合があります。	リモコンにより 付属していない 場合があります。		特定保守製品のみ	
※コードクリップ	タッピンねじ (L10)	取扱説明書	工事説明書	注意書	

※機器との接続時に使用します。

別売部品

- リモコンコード
- リモコンパイプセット

台所リモコンの取付け

台所リモコンの取付け上の注意

- このリモコンは防水タイプではありませんので、浴室など湿気の多い場所には取付けないでください。
- 周囲の壁や他のリモコンなどに密着させず1cm以上離し、リモコンのふたを全開にしたとき、障害物にあたらない位置に取付けてください。
- ガスステーブルやこころなどの燃焼器具の上部には絶対に取付けないでください。電気部品の故障や外装変形の原因になります。
- 炊飯器や電気ポットなどの蒸気や水滴、じゃ口からの水しぶきがかかる場所には取付けないでください。
- 直射日光のあたる場所には取付けないでください。
- 幼児の手が届くところには取付けないでください。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所には取付けないでください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20mを超える場合は動作保証できません。
- リモコンコードは熱の影響を直接受けないところに配線してください。
- リモコンコードをコンクリートや壁などに埋込むときは、必ず電線管などを使用してコードを傷つけないようにしてください。
- リモコンコードを途中で分岐したり、リモコンからリモコンへ渡り配線しないでください。
- リモコンの表面パネルには保護フィルムが貼ってあります。工事完了後は必ずはがしてください。

台所リモコンの取付け

埋込み配線の場合

- 事前に壁内部に電線管を通して、スイッチボックスを設置してください。

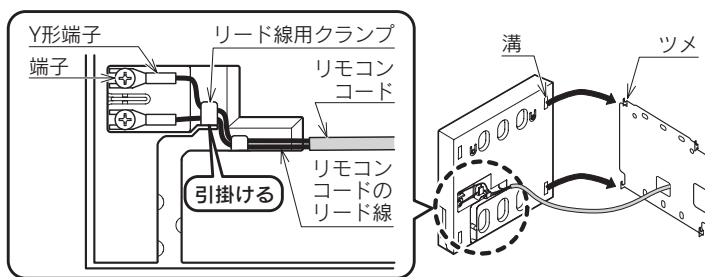
1. リモコン固定板を下にスライドさせ、台所リモコンからはずします。
2. リモコン固定板を壁に固定します。

- (1) リモコンコードを電線管を通して、リモコン固定板の配線用穴から引き出してください。
- (2) リモコン固定板をスイッチボックスの取付ねじ穴に合わせ、スイッチボックス付属の取付ねじ(M4)で固定してください。
・ねじを強く締めすぎるとリモコン固定板が変形するおそれがありますので注意してください。

3. 台所リモコンにリモコンコードを接続します。

- 市販のコードを使用する場合は「市販のコードを使用する場合(台所リモコン)」を参照してください。
- ・端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- ・電動ドライバーは絶対に使用しないでください。端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがあります。
- ・リモコンコードは無極性ですので、+はありません。

- (1) リモコン固定板から引き出した台所リモコンコードのY形端子をリモコン端子にしっかりと接続します。
- (2) リード線用クランプにリモコンコードのリード線を引掛けます。余ったリモコンコードは壁穴に入れます。

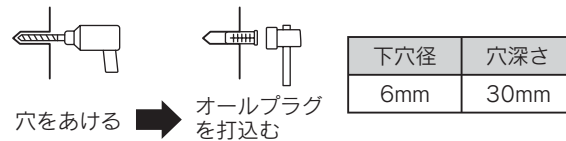


4. 台所リモコンを取付けます。
リモコン固定板のツメ4箇所をリモコンの背面の溝に合わせて、上から下へスライドさせて固定します。

5. 台所リモコン取付け後、固定状態を確認します。
リモコン固定板が動く場合は取付ねじを増し締めしてください。

露出配線の場合

1. リモコン固定板を下にスライドさせ、台所リモコンからはずします。
2. リモコン固定板を壁に固定します。
壁の丈夫な場所(柱など)にリモコン固定板を付属のタッピンねじ(L35、2本)で直接固定してください。
・ねじを強く締めすぎるとねじ穴の破損やリモコン固定板が変形するおそれがありますので注意してください。
※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁にリモコン固定板をねじ止めする場合は、付属のオールプラグを使用してください。



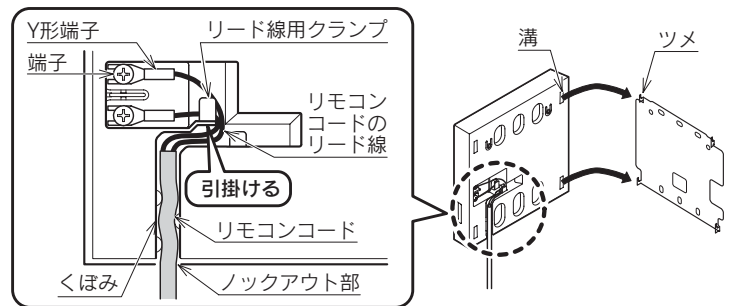
3. 台所リモコンにリモコンコードを接続します。

- 市販のコードを使用する場合は「市販のコードを使用する場合(台所リモコン)」を参照してください。
- ・端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- ・電動ドライバーは絶対に使用しないでください。端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがあります。
- ・リモコンコードは無極性ですので、+はありません。

- (1) リモコン下部のノックアウト部を切り取ります。

- (2) 図のようにY形端子を台所リモコンの端子にしっかりと接続します。

- (3) リモコンコードのリード線はリード線用クランプに引掛けて、リモコンコードをくぼみに収めます。



4. 台所リモコンを取付けます。

リモコン固定板のツメ4箇所を台所リモコンの背面の溝に合わせて、上から下へスライドさせて固定します。

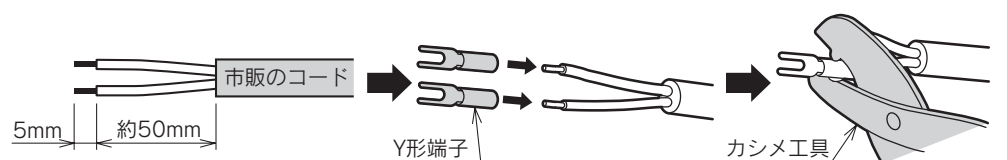
5. 台所リモコン取付け後、固定状態を確認します。

リモコン固定板が動く場合はタッピンねじを増し締めしてください。

市販のコードを使用する場合(台所リモコン)

- 市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。

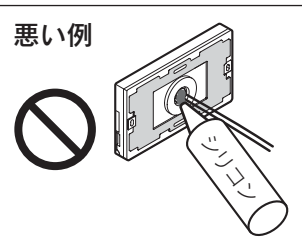
1. 図を参考に市販のコードを皮むきし、リード線の被覆を約5mm切り取ります。
2. 市販のコードの先端をY形端子に差し込んでカシメ工具でかします。



浴室リモコンの取付け

浴室リモコンの取付け上の注意

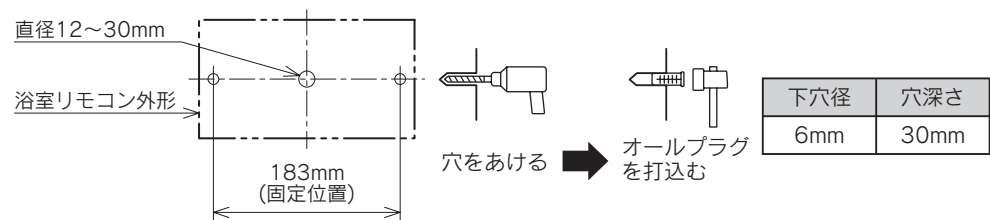
- 取付け位置はスイッチ操作が容易にでき、表示がよく見えるところを選んでください。
- 周囲の壁や他のリモコンなどに密着させず1cm以上離し、リモコンのふたを全開にしたとき、障害物にあたらない位置に取付けてください。
- 壁に穴をあけますので、内部の柱や鉄筋の位置を確認してください。
- 浴室リモコンは防水加工されていますので分解しないでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、水やお湯が直接かからない場所に取付けてください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20mを超える場合は動作保証できません。
- リモコンコードを途中で分岐したり、リモコンからリモコンへ渡り配線しないでください。
- 浴室リモコン裏面のねじ部にはリモコン変形防止用の防水通気穴がありますので、シリコンなどでふさがらないでください。



浴室リモコンの取付け

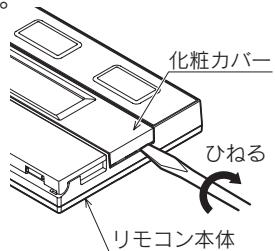
リモコンパイプセット(別売部品)を使用しない場合

- 1.壁にリモコンリード線の通る穴(直径12~30mm)をあけます。
※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁に浴室リモコンをねじ止めする場合は、固定位置に付属のオールプラグを使用してください。



- 2.リモコンリード線が傷つかないように、穴の周囲をバリ取りします。

- 3.浴室リモコンの化粧カバーをはずします。
化粧カバーと浴室リモコン本体の側面の隙間に、マイナスドライバーなどを差し込み、軽くひねると化粧カバー固定用のツメがはずれます。左右両方のツメをはずし、化粧カバーの両端を持ち上げてください。
・化粧カバーの片側を持ち上げたり、ツメがはずれていない状態で無理に引張ると、化粧カバーが破損します。



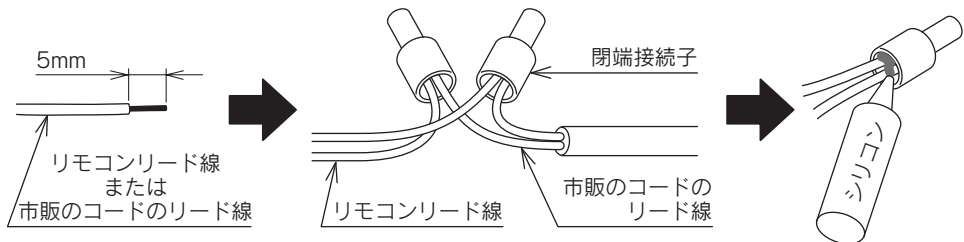
- 4.壁にあけた穴からリモコンコードを引き出します。

- 5.リモコンリード線のコネクタとリモコンコードのコネクタを接続します。

市販のコードを使用する場合(浴室リモコン)

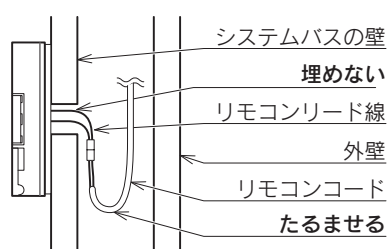
- 市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。

- 1.リモコンリード線のコネクタを切り取り、図を参考にリモコンリード線と皮むきをした市販のコードのリード線の被覆を約5mm切り取ります。
- 2.リモコンリード線と市販のコードのリード線の先端を、付属の閉端接続子に差し込んでカシメ工具でかしめ、シリコンでコーキングして防水処理をします。

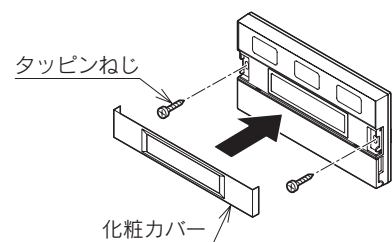


- 6.壁のリモコン取付面に付着した切り粉・油分・コーキング(シリコン)などをふきとります。

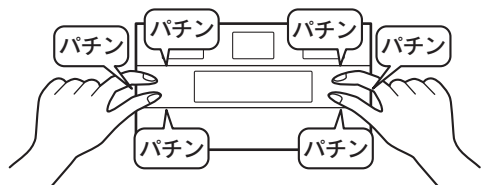
- 7.浴室リモコン裏面のパッキンの裏紙をはがし、接続したリモコンコードとリモコンリード線を静かに壁穴に戻しながら、浴室リモコンが水平になるように取付けます。
・浴室リモコンに水が伝わらないようにするため、リモコンコードをたるませてください。
・リモコンリード線を通した壁穴は埋めないでください。



- 8.浴室リモコンを付属のタッピンねじ(L40、2本)で壁に固定します。
・ねじを強く締めすぎると浴室リモコンのねじ穴が破損するおそれがありますので注意してください。



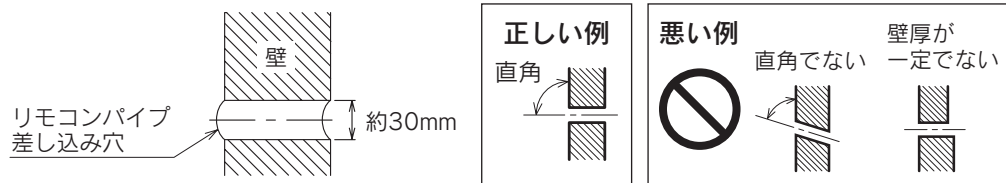
- 9.浴室リモコンの化粧カバーを元通りに取付け、固定状態を確認します。
化粧カバーは周囲を指で押さえ、パチンと音がするまでしっかり押し込んでください。



リモコンパイプセット(別売部品)を使用する場合

- リモコンパイプの取付け可能な壁の厚さは約40~210mmです。

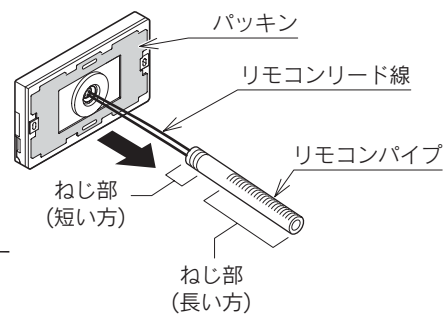
- 1.壁に直径約30mmの穴をあけます。壁に対して直角にあけます。



- 2.リモコンパイプを壁の厚さに35mm加えた長さに切ります。(ねじ部の長い方を切ってください。)

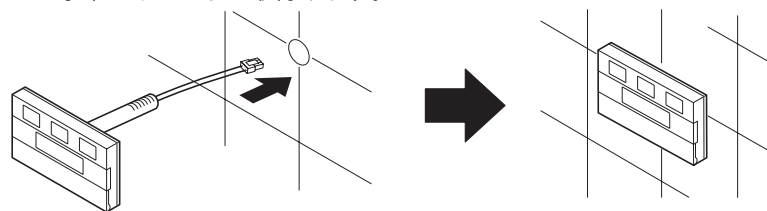
- 3.リモコンパイプにリモコンリード線を通します。

- 4.リモコンパイプを浴室リモコンにしっかりとねじ込みます。



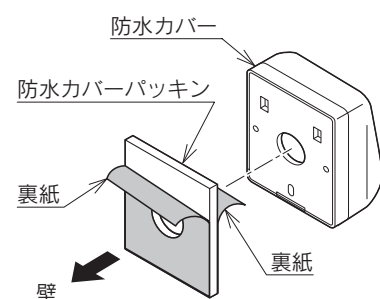
- 5.壁のリモコン取付面に付着した切り粉・油分・コーキング(シリコン)などをふきとります。

- 6.浴室リモコンのパッキンの裏紙をはがし、壁にリモコンリード線とリモコンパイプを通して浴室リモコンが水平になるように取付けます。

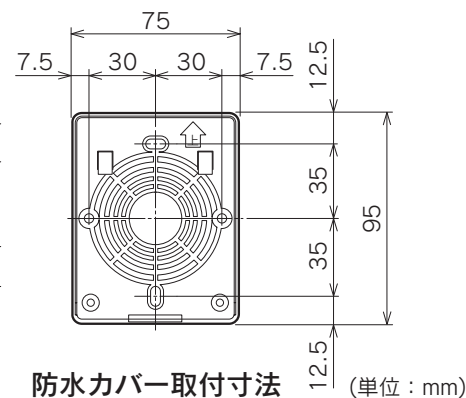
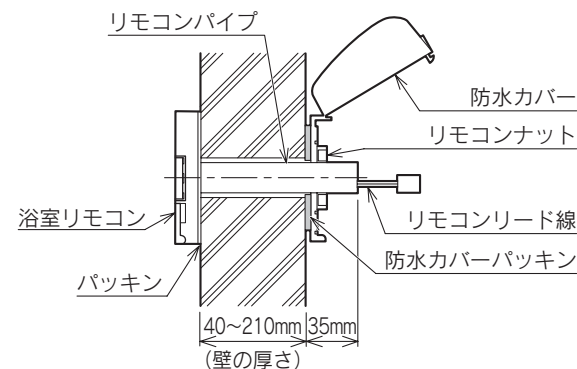


- 7.防水カバーに裏紙をはがした防水カバーパッキンを貼り付け、反対側の裏紙をはがします。

- 8.防水カバーにリモコンリード線とリモコンパイプを通します。



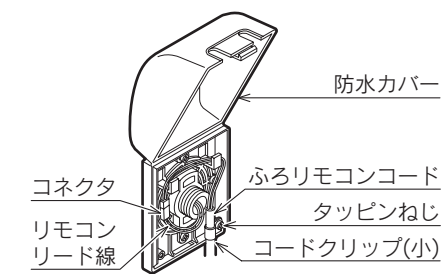
- 9.防水カバーの上下を確認して、壁に防水カバーを取付けます。



- 10.リモコンパイプにリモコンナットをしっかりと締めます。

- 11.リモコンリード線のコネクタと、リモコンコードのコネクタを接続します。

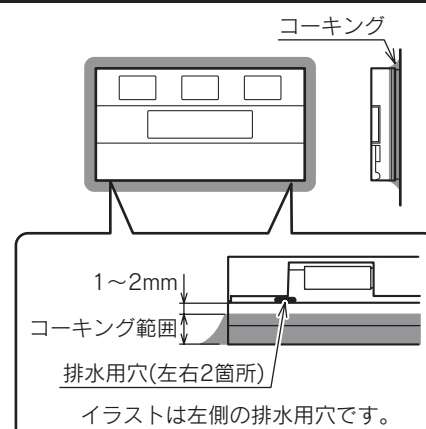
- 12.防水カバーの中にリモコンリード線とコネクタを収め、リモコンコードをリモコンパイプセット付属のコードクリップ(小)とタッピンねじで防水カバーに固定します。



- 13.防水カバーのふたを閉じます。

浴室リモコン周囲のコーキング

- 浴室リモコンの周囲をシリコンなどでコーキングしてください。
コーキングをしないと浴室リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。(浴室リモコン下部の排水用穴をふさがらないように注意してください。)



機器との接続

- 機器との接続は機器付属の「工事説明書」を参照してください。